

浅倉老人クラブ&子供会の 三世代交流サツマイモ掘り

9月23日に日高町浅倉区で「三世代交流サツマイモ掘り」が行われました。浅倉区では、老人クラブと子供会の交流行事として毎年この時期に開催しており、十数年続いているそうです。

5月に老人クラブのおじいちゃん、おばあちゃんから芋づるのさし方を教えてもらって、子供たちが植え付けました。

イモ掘り当日は、すがすがしい秋晴れの下、老人クラブは元気な人はできるだけ参加し、子供会は、幼稚園児から中学生までの子供たちとその父母が参加。

おじいちゃん、おばあちゃんに掘り方を教わりながら三世代が交流し、有意義なひと時を過ごされました。

今後、各地区の遊休農地を活用するなどしてこのような交流が行われれば、その地区の活性化にもつながると思いました。(宮岡正則委員)



やった～大きなサツマイモがとれたよ！

“八代オクラ” ついに学校給食に登場！

○豊岡市農業委員会で広く普及すべく取り組みを進めている伝統野菜“八代オクラ”。今年6月に「八代オクラ植え付け体験及び現地講習会」が、市立八代小学校の児童を対象に八代オクラの生産者である吉岡さんの圃場で行われ、9月4日には、収穫体験が実施されました。

○その八代オクラが、9月5日・19日・26日に八代オクラのお浸し、八代オクラのスープとして市立日高学校給食センター管内の小中学校の給食に登場。

○児童、生徒たちは美味しそうに食べていました。



編集後記

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

お申し込みは農業委員会事務局へ

◇農業者の高齢化がますます進んでいきます。「農業だけでは生活できない」現実のもとで遊休農地は年々拡大する一方です。
◇しかし他方では、農業研修制度への参加や農業大学校への進学を通じて、農業後継者や新たに農業への参画をめざす若者も徐々に現れていることはいずれのことです。
◇ここ数年にわたり、私たち農業委員会は「こども園」や「小学校」の子どもたちと、「食農教育」を実施してきました。幼児期から土に触れ、身近に農家

のくらしに接しながら、地域に受け継がれてきた「伝統食」、「伝統野菜」を学ぶことで、郷土の豊かな農地と農業を守ろうとする意識の芽生えにつながることを願っています。
◇農業を魅力的なものとするためには、農業収入の安定化は欠かせません。経営規模の拡大と認定農業者の育成だけにとどまらず、地場農産物の地域ブランド化の推進や「伝統野菜」の発掘と普及、さらにそれらの消費拡大を一体となって進めることが重要ではないでしょうか。
◇豊かな自然と文化に育まれた国土を未来につなげるためにも農業と農地の荒廃は防がなければなりません。手遅れにならないうちに知恵を絞り力を合わせましょう。
(T・T)



農業委員会だより第38号は私たちが担当しました